

指宿の地域資源の探究 2

鹿児島大学法文学部と指宿高等学校の連携事業

石田智子・吉田明弘・兼城系絵（人文学科多元地域文化コース）、馬場武（法経社会学科経済コース）

目的



高大連携事業



- ・南薩の地域資源（文化資源・自然資源）の発見・理解の深化
- ・地域で活躍する人材育成への貢献
- ・地域の多様なアクターとの共創による価値創造

指宿高等学校 鹿児島大学法文学部 地域社会



地域に根差した課題発見 多様な専門知の活用 現場経験と実践活動

内容

指宿高等学校の総合的な探究の時間「柏葉」における地域課題の解決を目指す探究活動（柏葉 ACTIVA）との連携を通して、鹿児島大学法文学部の多様な専門知を地域に埋め込む取り組みを実施した。南薩の地域資源を探究する巡検も実施した。

出前授業

柏葉一日総合大学 [2023年7月25日@指宿高等学校]

- ・大学の多分野の講義を1・2年生が受講する行事。
- ・事前打ち合わせ（活動方針、進捗状況、現状の課題）。
- ・探究活動の18グループを3班（健康・福祉、町おこし、社会問題）に分け、班ごとにディスカッション。法文学部教員3名が担当。

教員のコメント

高校生への期待としては、単なる「良いことをする」という意識や活動だけでなく、深い理解と問題解決のスキルを身につけ、持続可能な影響を生むプロジェクトに挑戦する姿勢を期待しています。探究学習を通じて学ぶことは、将来のリーダーシップや社会参加において重要な基盤となります。

合同ワークショップ

合同ワークショップ「指宿の未来への贈りものプロジェクト」[2023年8月10日@鹿児島大学]

- ・高校生の探究活動をより深く掘り下げるために、大学生の専門分野や興味関心と対応するようにグループを編成。
- ・テーマ：LGBTQ+、郷土資料、指宿で働く外国人、海岸のゴミ調査、地域医療、途上国支援
- ・探究活動の現状と課題を議論を通じて整理、今後の取り組み内容を発表。

高校生のコメント

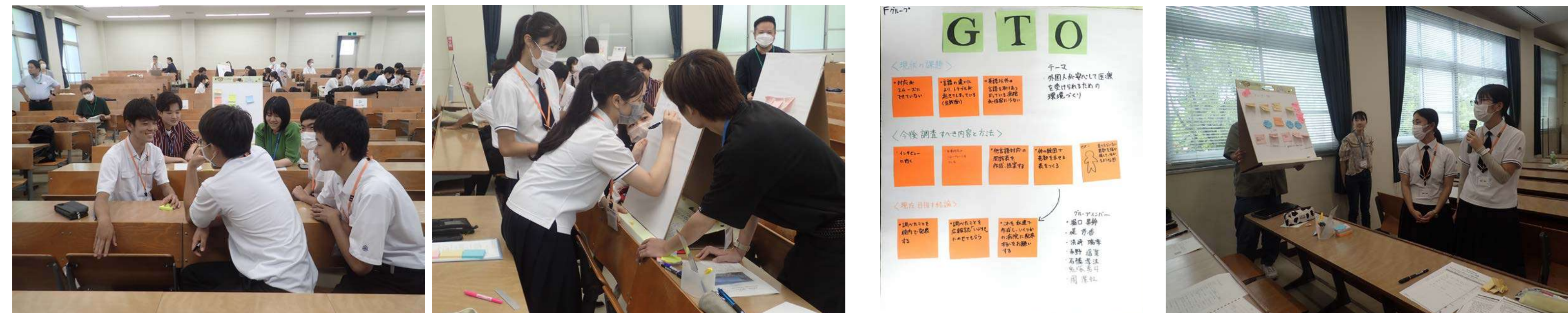
とても貴重な体験をすることができました。大学生と普段関わる機会もないのでとても新鮮で楽しかったです。最初はとても緊張していたけど、大学生の皆さんが仕切って話しやすい雰囲気も作ってくれたおかげで、楽しい話し合いをすることができました。私たちの課題を改めて深く考え、今まで考えなかった視点からのアドバイスもいただけてとても勉強になりました。

大学生のコメント

高校生と話すのは新鮮で、自分たちの話をしっかりと聞き入れ改善しようとする吸収力がすごいと感じました。

教員のコメント

前回よりも議論がスムーズで結果の発表も豊かなストーリー性があったことが印象的です。前回のメンバーの知識が組織の形式知として（あるいは暗黙知のまま）高校にも大学にも蓄積した結果ではないでしょうか。



グループの議論風景

議論の整理

成果発表



会場風景

集合写真（指宿高等学校29名・鹿児島大学31名）

発表会

指宿高等学校の成果発表会 [2023年12月16日]

- ・2年生による成果発表をうけて、鹿児島大学の学生・教員から講評した。
- ・発表内容や成果を評価するとともに、異なる立場や多様な側面からの意見、今後の展開可能性についてコメントした。



成果発表会

大学生の講評

南薩巡検

巡検①[2023年12月16日]

- ・指宿の自然環境の特徴や歴史・文化との関わりに注目。
- ・指宿高等学校→指宿市立図書館→山川製塩工場跡→開間山麓香料園→池田湖→今和泉島津家墓地



山川製塩工場跡での説明

開間山麓香料園での体験

今和泉島津家墓地

巡検②[2024年2月28日]

- ・法文学部令和5年度後期開講科目「考古学実習Ⅰ」の一環で実施。
- ・薩摩伝承館→指宿市考古博物館 COCCO はしむれ →河野覚兵衛家墓石群・旧正龍寺跡墓石群→知覧特攻平和会館

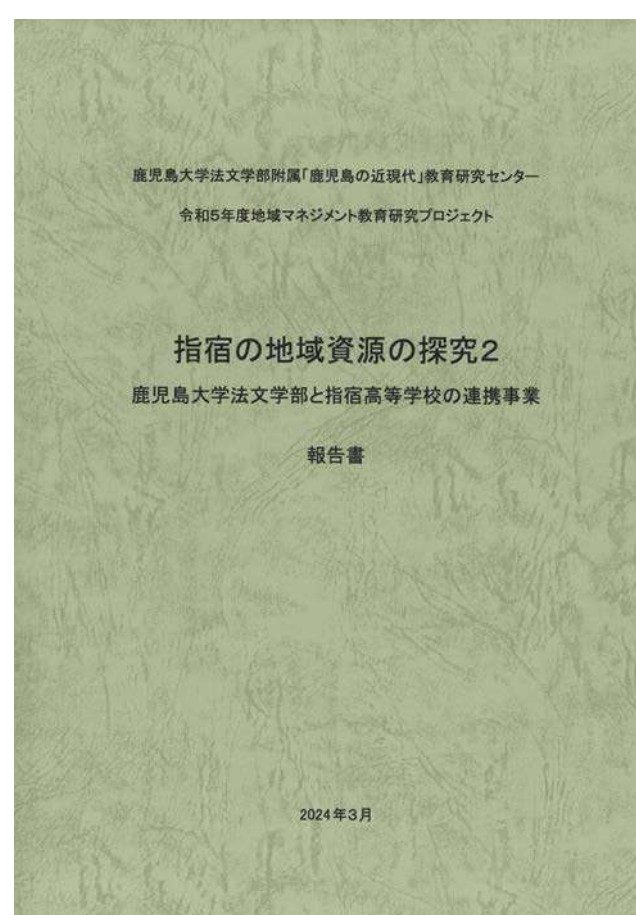


薩摩伝承館の見学

COCCO はしむれの見学

河野覚兵衛家墓石群

成果



令和5年度成果報告書

- ・高大連携事業を2年間（令和4・5年度）継続して実施することで、鹿児島大学と指宿高等学校の関係の基盤を構築し、連携事業に対する考えや期待の共有、相互理解を深めた。
- ・出前授業、合同ワークショップ、成果発表会を通して、学生・教員ともに相互に刺激し合う関係を構築した。事業に参加した学生たちは、学びの多様なありかたや楽しさ、自信と達成感、成長を知る機会となった。適切な方法で地域の状況を認識し、責任をもって行動し活躍する人材となることが期待される。
- ・地域課題の発見、課題解決の実践にあたってはフィールドワークのスキルが重要である。
- ・これまでに構築してきたネットワークを活かして、次年度以降はさらなる展開を企画している。